

講義名	経営学入門(商学部・経済学部：2年生以上)			授業形態	
担当教員	岡田 恵実	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

### 主題と概要

初学者を対象に、経営学の基礎的な知識や理論を学ぶ授業です。経営学を、「企業や会社が良いことを上手に実現するための方法を学ぶ学問」ととらえ、経営学の全体像から、企業活動、戦略論、組織論などを経営に関わることを幅広く学んでいきます。具体的な事例を紹介しながら進めていき、経営学が私たちの生活や社会とどのようにかかわっているのか理解を深めていきます。

### 到達目標

1. 経営学の基本的な知識を身に付けることができるようになります。
2. 社会や生活で接する、あるいは目にするさまざまな企業について、経営学の視点から説明できるようになります。
3. 経営学という幅広い領域の学問から、自分が興味を持つ分野を見つけることができるようになります。

### 提出課題

1. 理解度確認テスト（毎回～2回に1回程度実施予定）  
当該授業の理解度確認を兼ねた小テストです。WEBツール等を使用して授業中に行います。授業中で行うため、事前告知はありません。
2. ミニレポート  
中間期にミニレポートの提出があります。WEBツール等を使用して行います。
3. 期末まとめテスト（文章形式）  
期末に期末まとめテスト（文章形式）を行います。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各課題については、提出期限後の授業にて全体向けに講評と補足解説を行います。

### 評価の基準

1. 出席、授業姿勢、理解度確認テスト 55%  
出席は授業で行う複数回のWEBツール等で総合的に判断します。出席が10回以上、理解度確認テストの提出回数が過半数以上を単位取得の最低必要条件とします。
2. 中間ミニレポート 15%
3. 期末まとめテスト（文章形式） 30%  
期末まとめテスト（文章形式）の提出を単位取得の最低必要条件とします。

従って、10回以上の出席、過半数以上の理解度確認テスト提出、期末まとめテストの提出が単位の最低必要条件となります。評価項目の内容や評価割合を変更することがあります。その場合は授業及び講義連絡でお知らせします。

### 履修にあたっての注意・助言他

- ・授業参加を重視した科目です。
- ・兼中して授業を受けてください。他の受講生の迷惑となる行為、WEBツール等以外のスマホはしないでください。
- ・理解度確認テストやレポート、期末まとめテスト実施に際して、他者・ネット資料等からのコピペは厳禁です。コピペが判明した場合は、当該点数が0点となります。自分の力で課題に取り組んでください。

### 教科書

.1からの経営学（第3版）.	加藤野忠男、吉村典久	中央経済社	2400円＋税		
----------------	------------	-------	---------	--	--

### 参考図書


### その他

授業はレジュメをベースに行います。必要に応じてグループディスカッションを行うことがあります。

### 授業計画

- 1 企業経営の全体像
- 2 経営学の全体像
- 3 企業と会社
- 4 企業とインフラ市場との関わり
- 5 企業とアウトプット市場との関わり
- 6 競争戦略のマネジメント (1)
- 7 競争戦略のマネジメント (2)
- 8 多角化戦略のマネジメント
- 9 国際化のマネジメント
- 10 マクロ組織のマネジメント
- 11 ミクロ組織のマネジメント
- 12 キャリアデザイン
- 13 経営学の広がり (1)
- 14 経営学の広がり (2)
- 15 全体のまとめ、期末まとめテスト

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

### 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習では、教科書の該当章（授業回と該当章は同じ番号です）を読んで確認してください。復習では、授業中に強調されたところを中心に、教科書及びレジュメを読み返し、理解を深めてください。事例について、インターネット等を活用して理解を深めたり、参考文献なども確認するとよいと思います。予習、復習ともそれぞれ2時間を想定しています。

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

企業マネジメントに関する幅広い知識と専門領域で要求される知識・実践的能力を身につけることができる。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中WEBツール等を活用して、問いを出したり、意見集約等を行うことを想定しています。グループディスカッションを行うことがあります。

### 実務経験の有無及び活用

実務経験あり  
大学卒業後、国の中小企業支援機関を中心に20年超勤務してきました。その中で、起業に関心を持つ人たちを増やす取り組みや起業支援、中小企業のコンサルティング業務などに関わってきました。経済産業大臣認定・中小企業診断士。

### 備考
